令和5年10月10日発行 発行者 宮城県議会議員 庄田圭佑

宮城県議会議員(泉区)

全力疾走! 第100号記念号

庄田けいすけ県政報告

これからも開かれた県議会を目指す!

交番新設について質問する様子。
→一般質問で自作のパネルを掲示して



みなさんこんにちは。宮城県議会議員の庄田圭佑です。 2015年の初当選以来、県民の皆様に開かれた県議会 を目指し、毎月発行している県政活動報告「全力疾走!」 も今回で通算100号を数えるに至りました。引き続き県 政情報を積極的に発信してまります。

さて、9月4日から令和4年度決算を主に審査する第3 89回定例会が10圧4日に提出議案が原案可決、決算認 定となり閉会いたしました。

今議会では物価高騰や災害への対応として約44億円の 補正予算が措置されました。予算の詳細は裏面に記載の通 りとなります。また、2本の議員提案条例の改正が可決さ れ、時代の変化に合わせて条例内容を改めています。詳細 については右記の特集記事をご覧ください。 今議会、私自身は9月

14日に、通算21回目となる一般質問に登壇しました。

今回の質問主旨としては、これまで私が議会質問等で積 み上げてきた県政課題等について取り上げました。

主に、1. 知事の南加(カリフォルニア)、ブラジル、ハワイの各宮城県人会訪問及び私の提案から実現に結び付いたインドネシアとの人材交流に関する覚書に基づく今後の取組、2. これからの時代に求められる行政改革の在り方、3. 泉パークタウンに新たな住宅地の分譲が進む中交番受持区域の見直し、4. 投票率向上に向けた県の取組などについて伺いました。

知事はじめ、執行部からは積極的に宮城県人会及びインドネシアとの積極的な交流を図る旨の答弁の他、私が提言した行政の効率化に関しても、提案に基づいて導入する答弁もありました。

なお、質問及び答弁の詳細はについては、是非とも私の HPに掲載している全力疾走99号もしくは、県議会ネット中継からご覧いただければ幸いです。(https://miyagipref. stream. jfit. co. jp/)

引き続き、「子どもたちに誇れる、未来を創る」ことを 理念に、県勢発展に全力疾走して参ります。どうか、皆様 より忌憚のないご意賜れば幸いです。

宮城県議会議員 庄田圭 佑

議員提案条例を改正

今議会で、私が委員長を務める環境福祉委員会では、 2本の議員提案条例改正案(犯罪被害者支援条例・宮 城県再生可能エネルギー等・省エネルギー促進条例) の審議を行いました。時代の変化とともに条例を取り 巻く情勢の変化があり、所要の改正を行ったものです。 主な変更点は右表の通りです。詳細については、宮城 県議会HPをご覧ください。なお、改正された条例は 令和6年4月1日施行予定となっております。

犯罪被害者等支援条例の主な改正点

- ・条例名の被害者に等を追加し家族等を含むことを明確にした
- 条例の所管を公安委員会から知事部局に改めた
- ・改たに事業者・民間支援団体の責務を定めた
- ・自ら被害を訴えることが困難で潜在化しやすい 被害者等に関する相談体制の確立に取り組む



宮城県地域と共生する再生可能エネルギー等・省エネルギー促進 条例の主な改正点

- •条例名に「地域と共生する」を追加
- ・条例の基本理念を新たに定めた
- ・多様な新エネルギー等・小エネルギーの技術開発等に 伴い再生可能エネルギーの定義を見直した



採択された意見書

・ブラッドパッチ療法 (硬膜外自家血注入療法)に対する適正な診療上の評価を求める意見書

今後議会で特に取り組む政策について

政務活動等レポート

1. 子育て支援を、やり抜く。

18歳までの医療費無償化、産婦健康診査、 産後ケアの更なる拡充など、社会全体で支え る環境を醸成し、子どもたちが健やかに成長 できる子育て環境を構築します。



3. 産業支援を、やり抜く。

産業分類、スタートアップ企業や大企業等、 企業規模にかかわらず、創業・事業展開しや すい支援体制を構築し、雇用創出・人口定着 に繋げます。



5. 安心づくりを、やり抜く。

県民誰もが犯罪や災害に巻き込まれない安全 な県土づくり、安心できる医療介護提供体制 実現に向けた人材確保等、県暮らしを守る体 制を構築します。



2. 学びの支援を、やり抜く。

幼児教育強化、給食費無償化、給付型奨学金 の拡充、また、いつでも誰でも生まれ育った 環境にかかわらず、全世代が学び続けられる 環境を構築します。



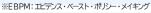
<mark>4. デジタル化を、やり抜</mark>く。

行政のデジタル化を更に進め、スマホ等で県 民と行政を直接繋ぎ、必要な情報がプッシュ 型で提供され、スマホ1台で手続きが完結す る行政を目指します。



6. 行財政改革を、やり抜く。

EBPMによる効果の高い政策の推進で行政 運営コストの適正化を図ります。併せて財源 確保策を提言し、次世代育成に必要な財源を 生みだします。





環境福祉委員会 の審議の様子。4 病院再編統合の 所管委員会です。



4年ぶりに本格 開催となった泉 マルシェを訪問。



農業水利施設の 省エネルギー化 に取り組む施設 管理者への支援。

可決された第2号補正予算の概要

物価高騰への対応	※(新)は新規予算 (拡)は拡充予算	
事業項目	予算額(千円)	
水利施設管理強化促進費	41,000	
流域下水道事業利用料金補償費(新)	208,447	

災害への対応

事業項目	予算額(千円)
農業等災害復旧費	25,800
河川等災害復旧費	461,489

その他

事業項目	予算額(千円)
畑地化促進費(新)	9,400
仙台塩釜港 (仙台港区) 無線局導入·運営費	111,000
特殊詐欺被害防止対策費(拡充)	2,100

※一部の補正予算を掲載しております。予算の詳細については財政課HPをご覧ください。https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/zaisei/

認定された令和4年度決算概要

単位:百万円

区分		令和4年度	令和3年度	增減額
歳入総額	Α	1, 134, 876	1, 256, 617	▲ 121, 741
支出総額	В	1, 097, 821	1, 194, 611	▲ 96,790
形式収支 (A-B)	O	37, 055	62, 006	▲ 24, 951
翌年度に繰越す財源	۵	23, 631	35, 074	▲ 11, 443
実質収支 (C-D)	Е	13, 424	26, 932	▲ 13,508
単年度収支	F	▲ 13,508	▲ 828	▲ 12, 680
積立金	G	13, 450	13, 841	▲ 391
繰上償還金	Н	129	23	106
基金取崩し額	I	12, 581	14, 315	▲ 1,734
実質単年度収支(F+G+H-	I)	▲ 12,510	▲ 1,279	▲ 11, 231

用語解説

◎形式収支

歳入決算総額から歳出決算総額を単純に 差引いた額

◎実質収支

歳入決算総額から歳出決算総額を単純に 差引いた額から、翌年度へ繰り越すべき 財源を差し引いた額

◎単年度収支

実質収支が前年度以前からの収支の累積 であるのに対し、単年度収支は当該年度 のみの実質的な収入と支出との差額を把 握するための指標

◎実質単年度収支

■ 単年度収支から、実質的な黒字要素(財 ・ 政調整基金積立額及び地方債繰上償還額)を加え、赤字要素(財政調整基金取崩 額)を差し引いた額

会報100号の歩み

県民の皆様に県議会の取組みを解りやすくお伝えするために毎月「全力疾走」を発行しておりますが、今回通算100号を数えるまでに至りました。







この間、皆様のご意見を踏まえ 紙面改善してきましたが、更によ い紙面作成に向け、皆様からご意 見を賜れば幸いです。

返送先FAX: 050-3737-4421

 芳	名	:

ご連絡先:

〒981-3213 仙台市泉区南中山2-2-5 TEL:022-342-1041 FAX:050-3737-4421



1984年2月2日生まれ1児の父。明泉幼稚園、南中山小・中学校を経て、泉館山高等学校、宮城大学事業構想学部卒業。その後、(株)サンケイビルに入社しダイバーシティ東京等の都市開発事業に従事。父の死に伴い、仙台に戻り衆議院議員秘書。2015年より宮城県議会議員を務める。2018年宮城大学事業構想学研究科修了。現在、環境福祉委員長、宮城県社会福祉審議会委員、デジタル庁デジタル推進員、こどもまんなか応援サポーター等を務める。